

報道各位

2021年7月16日
公益財団法人石橋財団 アーティゾン美術館

石橋財団コレクション選 **印象派—画家たちの友情物語** 2021年10月2日 [土] — 2022年1月10日 [月・祝]



マリー・ブラックモン《セーヴルのテラスにて》1880年 ★

公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館（館長 石橋 寛）は、5階展示室にて石橋財団コレクション選「印象派 画家たちの友情物語」を開催します。印象派の作品40点と芸術家の肖像写真コレクション14点で構成される本展は、あまり知られることのなかった画家同士の人間関係を手がかりに、印象派の名画をお楽しみいただける展覧会です。

印象派といえば、モネやルノワールといった名前が浮かぶでしょう。画塾などで知り合った仲間たちが、自分たちの作品を展示する場を求めて開催したのが、いわゆる「印象派展」です。19世紀フランスで活動した印象派の画家たちは、互いに親しく交流していました。たとえばセザンヌは、若い頃ピサロとカンヴァスを並べて制作しており、父のように慕っていました。また、ルノワールは、カイユボットの遺言執行人として奔走しました。

本展は、友情関係や師弟関係、夫婦関係などを含む画家たちの交流を“友情物語”とし「マネ × モリゾ × ゴッホ × セザンヌ」「ドガ × カサット」「ピサロ × セザンヌ」「カイユボット × ルノワール」「ゴッホ × ゴッホ」「ブラックモン夫妻」「モネ × シスレー × シニャック」の7つの物語で構成されます。アーティゾン美術館は、印象派の絵画をコレクションの中心のひとつに据えてきました。近年の収集によりさらに充実した印象派のコレクションを、友情物語という新たな切り口でご紹介します。

石橋財団コレクション選 特集コーナー展示 挿絵本にみる 20 世紀フランスとワイン



石橋財団コレクションの中には、ユトリロやデュフィなどフランスの画家たちが挿絵をほどこした、ワインや蒸留酒をテーマとする 20 世紀の挿絵本があります。4 階の特集コーナー展示では、ユトリロらが挿絵を担当した『葡萄酒、花、炎』（1952 年）など 3 冊をご紹介します。

モーリス・ユトリロ《『葡萄酒、花、炎』（ジョルジュ・デュアメルほか著）のための挿絵》1952 年刊

4 階展示室ではこの他にも近代から現代までの石橋財団コレクションの代表的な名品をご覧ください。

【開催概要】

展覧会名： 石橋財団コレクション選

印象派 画家たちの友情物語

特集コーナー展示 挿絵本にみる 20 世紀フランスとワイン

主催： 公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

会場： アーティゾン美術館 5 階（印象派—画家たちの友情物語）、4 階展示室（特集コーナー展示 挿絵本にみる 20 世紀フランスとワイン）

会期： 2021 年 10 月 2 日 [土] — 2022 年 1 月 10 日 [月・祝]

開館時間： 10：00 — 18：00（毎週金曜日は 20：00 まで）*入館は閉館の 30 分前まで

休館日： 月曜日（1 月 10 日は開館）、12 月 28 日—1 月 3 日

入館料（税込）： 日時指定予約制（2021 年 8 月 2 日 [月] よりウェブ予約開始）

ウェブ予約チケット 1,200 円、当日チケット（窓口販売）1,500 円、学生無料（要ウェブ予約）

*この料金で同時開催の展覧会もご覧いただけます。

*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。

*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

担当学芸員： 賀川恭子（印象派—画家たちの友情物語）、黒澤美子（特集コーナー展示 挿絵本にみる 20 世紀フランスとワイン）

アーティゾン美術館 〒104-0031 東京都中央区京橋 1-7-2

Tel: 国内 050-5541-8600 海外 047-316-2772（ハローダイヤル）www.artizon.museum

アクセス：JR 東京駅（八重洲中央口）、東京メトロ銀座線・京橋駅（6 番、7 番出口）、東京メトロ・銀座線/東西線/都営浅草線・日本橋駅（B1 出口）から徒歩 5 分

*開催情報は予告なく変更となることがあります。

【同時開催】

ジャム・セッション 石橋財団コレクション×森村泰昌

M 式「海の幸」—森村泰昌 ワタシガタリの神話

休館日、入館料が上記の通り変更になりました



「ジャム・セッション」は石橋財団コレクションと現代美術家の共演です。その第 2 回目に迎えるのは、「自画像的作品」をテーマに制作し続ける森村泰昌。青木繁の代表作である《海の幸》と本格的に向き合い、当作品が制作された明治期以降の日本の文化、政治、思想などの変遷史を“森村式”、略して“M 式”「海の幸」として形象化し、青木への熱い想いを新たなる作品シリーズへと昇華させます。

会場： 6 階展示室

担当学芸員： 田所夏子、伊藤絵里子

広報用画像ダウンロード：<https://www.artpr.jp/artizon/morimura2021>

森村泰昌《青春の自画像（Aoki）》2016/2021 年 作家蔵

【広報用図版】

1点のみ掲載の場合は★のついた表紙の作品をお使いください。
掲載時には必ずクレジットをご記載ください。また、文字載せやトリミングはご遠慮ください。

広報用画像データのダウンロードはこちら

広報用画像ダウンロード：<https://www.artpr.jp/artizon/collection2021>



印象派 画家たちの友情物語



エドゥアール・マネ《自画像》
1878-79年



メアリー・カザット《日光浴 (浴後)》1901年



ポール・セザンヌ《サント=ヴィクトワール山とシャトー・ノワール》1904-06年頃



ピエール=オーギュスト・ルノワール
《すわるジョルジェット・シャルパン
ティエ嬢》1876年



フィンセント・ファン・ゴッホ《モンマルトルの風車》1886年



クロード・モネ《黄昏、ヴェネツィア》1908年頃

特集コーナー展示 挿絵本にみる 20世紀フランスとワイン



モーリス・ユトリロ《『葡萄酒、花、炎』（ジョルジュ・デュアメルほか著）のための挿絵》1952年刊

本プレスリリースについてのお問合せ先
アーティゾン美術館 広報課 松浦・小川・宮武

*一般の方のお問合せ先は 050-5541-8600 (ハローダイヤル) です。
E-mail: publicity@artizon.jp TEL: 080-2448-0444 (広報課直通・誌面への掲載はご遠慮ください。)
〒104-0031 東京都中央区京橋 1-7-2